

2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL <https://www.tsukada-global.holdings>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 山崎誠広 (TEL) 03-5464-0081
 四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	13,428	9.6	747	—	1,342	—	1,000	—
2023年12月期第1四半期	12,250	40.8	△13	—	72	—	37	—

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 1,183百万円(—%) 2023年12月期第1四半期 △182百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	20.98	—
2023年12月期第1四半期	0.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	92,802	28,373	30.3
2023年12月期	93,154	27,428	29.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 28,124百万円 2023年12月期 27,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,287	5.4	1,810	27.6	2,283	5.4	1,461	△28.3	30.64
通期	63,217	10.0	6,421	20.2	6,202	8.0	4,327	△8.5	90.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	48,960,000株	2023年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	1,259,834株	2023年12月期	1,259,834株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	47,700,166株	2023年12月期1Q	47,700,166株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	9
3. 補足情報	10
(施行及び受注の状況)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善並びにコストカット経済から成長型経済への変革など政府による各種政策の効果により全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、世界的な金融引き締めに伴う為替相場の急激な変動、エネルギーコストや原材料価格を含む消費者物価の上昇など、先行きについては依然不透明な状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループはブライダル市場、ホテル市場及びウェルネス&リラクゼーション(W&R)市場における新たな価値の創造、高品質かつ魅力あふれる店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に取り組み、多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。

ホテル事業においては、国内旅行客数の増加や訪日外国人数においては2024年3月、単月では初となる3百万人(日本政府観光局「訪日外国人数(2024年3月推計値)」)を超え2019年同月比11.6%増となり、これらの影響から宿泊稼働率及び宿泊単価が上昇し、総じて安定した状況で推移いたしました。また、婚礼事業及びホテル事業における婚礼施行単価も回復が遅れておりましたが緩やかに回復しております。W&R事業においては、コロナ禍からの回復に遅れが生じている不採算店舗の退店及び事業効率の改善を実施し、今後の収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、13,428百万円(前年同四半期比9.6%増)と12四半期連続の増収となり、利益面につきましては、営業利益747百万円(前年同四半期は営業損失13百万円)、営業外収益において為替差益612百万円の計上等があったことにより、経常利益は1,342百万円(前年同四半期は経常利益72百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,000百万円(同前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益37百万円)と大幅な増収増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

当第1四半期連結累計期間においては、婚礼施行件数が1,918件(前年同四半期比11.1%減)と一部店舗の閉鎖により減少しましたが、婚礼施行単価の緩やかな回復により売上高は微増となりました。利益面においても婚礼施行単価の上昇がエネルギーコストや原材料価格の上昇を吸収し前年同四半期比では大きく増加することとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は7,442百万円(同4.1%増)、セグメント利益は534百万円(同102.2%増)となりました。

② ホテル事業

当第1四半期連結累計期間においては、ホテル婚礼施行件数が395件(同11.6%増)と増加し、宿泊稼働率及び宿泊単価についても訪日外国人数の増加から堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は5,251百万円(同19.8%増)、セグメント利益は676百万円(同214.1%増)となりました。

③ W&R事業

当第1四半期連結累計期間においては、英国式リフレクソロジーサロン「クイーンズウェイ」において不採算店舗の退店等を進め、今後の収益基盤の強化及び事業効率化を推進いたしました。また、複合温浴施設「美楽温泉SPA-HERBS」においては、来館者数及び飲食売上高が過去最高となったことから、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は735百万円(同2.3%増)、セグメント利益は16百万円(前年同四半期はセグメント損失40百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ352百万円減少して、92,802百万円となりました。これは主に、有形固定資産が401百万円及び投資有価証券が367百万円それぞれ増加しましたが、有利子負債の返済、法人税及び消費税等の納税により現金及び預金が1,071百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ1,297百万円減少して、64,429百万円となりました。これは主に、返済により長期借入金（1年内含む）が1,056百万円、償還により社債（1年内含む）が280百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ944百万円増加して、28,373百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が762百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は30.3%となり前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び進捗状況等を勘案し、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年5月8日付で公表しております「2024年12月期 第2四半期及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,005	17,933
売掛金	1,705	1,874
商品	161	169
原材料及び貯蔵品	390	354
その他	4,029	3,879
貸倒引当金	△40	△39
流動資産合計	25,249	24,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,795	27,613
土地	16,774	16,867
建設仮勘定	743	971
その他(純額)	1,168	1,430
有形固定資産合計	46,481	46,883
無形固定資産		
のれん	745	690
その他	877	886
無形固定資産合計	1,622	1,576
投資その他の資産		
投資有価証券	6,029	6,397
敷金及び保証金	7,051	7,039
その他	6,691	6,720
貸倒引当金	△128	△136
投資その他の資産合計	19,644	20,020
固定資産合計	67,747	68,480
繰延資産	157	149
資産合計	93,154	92,802

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,947	1,935
1年内返済予定の長期借入金	7,118	7,034
1年内償還予定の社債	994	844
未払法人税等	615	357
前受金	3,080	3,504
店舗閉鎖損失引当金	260	264
その他	4,296	4,189
流動負債合計	18,312	18,129
固定負債		
社債	4,709	4,579
長期借入金	36,391	35,419
退職給付に係る負債	409	423
役員退職慰労引当金	1,005	1,016
資産除去債務	4,549	4,556
その他	348	304
固定負債合計	47,413	46,299
負債合計	65,726	64,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	26,393	27,155
自己株式	△892	△892
株主資本合計	26,606	27,369
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	99	118
為替換算調整勘定	488	634
退職給付に係る調整累計額	2	2
その他の包括利益累計額合計	589	755
非支配株主持分	231	248
純資産合計	27,428	28,373
負債純資産合計	93,154	92,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	12,250	13,428
売上原価	8,360	8,448
売上総利益	3,890	4,980
販売費及び一般管理費	3,903	4,232
営業利益又は営業損失(△)	△13	747
営業外収益		
受取利息	11	61
匿名組合投資利益	70	74
為替差益	68	612
その他	101	41
営業外収益合計	251	790
営業外費用		
支払利息	122	138
持分法による投資損失	12	33
その他	30	23
営業外費用合計	165	195
経常利益	72	1,342
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	51	0
店舗閉鎖損失	16	6
その他	-	25
特別損失合計	68	33
税金等調整前四半期純利益	4	1,308
法人税等	△32	306
四半期純利益	36	1,001
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	37	1,000

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	36	1,001
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△238	19
為替換算調整勘定	10	50
退職給付に係る調整額	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	9	111
その他の包括利益合計	△218	181
四半期包括利益	△182	1,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△182	1,166
非支配株主に係る四半期包括利益	0	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	7,145	4,382	718	12,246	—	12,246
その他の収益	4	—	—	4	—	4
外部顧客への売上高	7,149	4,382	718	12,250	—	12,250
セグメント間の 内部売上高又は振替高	426	244	8	678	△678	—
計	7,575	4,627	726	12,929	△678	12,250
セグメント利益又は セグメント損失(△)	264	215	△40	439	△452	△13

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△452百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△458百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	7,427	5,251	735	13,413	—	13,413
その他の収益	14	—	—	14	—	14
外部顧客への売上高	7,442	5,251	735	13,428	—	13,428
セグメント間の 内部売上高又は振替高	487	229	2	719	△719	—
計	7,929	5,480	737	14,147	△719	13,428
セグメント利益	534	676	16	1,227	△480	747

(注) 1. セグメント利益の調整額△480百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△485百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

3. 補足情報

(施行及び受注の状況)

(1) 婚礼施行実績

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
婚礼事業	2,157	1,918	10,462
ホテル事業	354	395	1,708
合計	2,511	2,313	12,170

(2) 婚礼受注状況

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)		前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)
セグメントの名称						
婚礼事業	2,966	6,789	3,104	6,717	10,013	5,531
ホテル事業	486	1,252	528	1,244	1,699	1,111
合計	3,452	8,041	3,632	7,961	11,712	6,642